

## 宇部市健康づくり推進審議会（令和6年度第2回）開催にかかる報告書

### 1 日時

令和7年（2025年）3月11日（火）19時00分～20時15分

### 2 場所

保健センター 1階 健診ホール

### 3 出席者

- (1) 審議会委員 10人  
オブザーバー 1人（教育機関）
- (2) 事務局 11人  
健康福祉部 佐々木部長、加生次長、島田次長  
健康増進課 伊藤課長、江本主幹、奈須副課長、西村係長、  
福永係長、武田係長、武田、中村

### 4 議題・配布資料

- ・事務局説明資料
- ・R6年度主な施策
- ・プレコンノート

### 5 概要（会議録）

#### (1) 女性の健康づくりについて

#### （事務局）【説明】

（委員）周知の場としては、飲食店やスポーツジムといった女性が集まりやすい場を利用したら良い。プレコンノートを配布するか、ネットからダウンロードしていただければいい。

（委員）7ページの出前講座の内容について

（事務局）「ちゃんと知りたい！女性の健康」というテーマで、企業などで女性ホルモンの変化に伴う女性の体の調子のこと、変化や症状について説明している。会議の途中などに休憩時間が設けられたらいい、調子が悪い時に休めるような場所があったらいいなど、女性だけでなく管理職の方、男性にも役立つ内容となっている。

- (委員) 講演等を聞き逃す場合もあるので、YouTube などを用いると欠席者も見ることができのではないかと。女性の体の相談について、今の若い人は、電話などで直接相談するのが難しいという話も聞くが、チャット式で相談するシステムが構築されているか。今後の検討課題などについても知りたい。
- (事務局) たとえば、連携協定を結んでいる大塚製薬では、大規模に女性の健康について調査研究しており、ホームページで、月経のこと、更年期のこと、疾病に関するチェックリストがある。1つ1つ答えていくと、その人に合うようなアドバイスがいただけるツールであるが、認知度はまだまだであると思う。
- (委員) 学校でまずはきちんと教えるというのが大事だと思う。地域や職域だと忙しくて講座に参加できないということもある。義務教育の中で教えていくことで、少しずつだが認知度が上がっていくと思う。
- (委員) 宇部市と学生と一緒に取り組んでいけるような形を作ってもらえたら、学生へのアプローチにも繋がっていくと思う。
- (委員) 職場だけではなく、母親が相談や検診受診の際にサポートできるシステムがあればいい。例えば、婦人デー。体を大事に考えよう、女性自身が自分の体を顧みるといった日が月に何日かあったらいい。
- (委員) 小学生に健康について周知する機会を設けたらいい。
- (委員) スーパーマーケット等で若い人に声をかけてみると、低血圧や朝起きられないといった深刻な状況になっている人がいた。若い人は相談するところがないのか、知らないのか。そういう人に声をかけて相談に来られたときは、健康チェックをし、関係機関につなげるようにしたい。
- (委員) 今回の宇部市の未来プロジェクト予算の中に、女性の健康づくり推進という項目があるが、予算化された主なものについて簡単な説明を。
- (事務局) 女性の応援セミナーの開催を企業等と連携して実施したいと考えている。また、市民の皆さんに届くような媒体を使った情報配信・周知啓発のための広報、物品の購入などに関する予算を計上している。
- (ワザバー) 学校での講演等は効果的で、外部講師に講演をしていただけるのは、養護教諭としても学校としても、とても助かっている。しかし、お願いしようとするときに、どなたにお願いしたらいいのか、どの方が引き受けてくださるのか分からない。講座・講師のリストのようなものがあると大変助かる。

(会 長) 欠席委員から届いた意見を披露。

生理など婦人科的な症状については、父親など男性の介護者の場合、対応が難しい。意図しない妊娠も問題となっている。生理が止まるなどの症状に対して状況把握が難しく、原因が特定しにくい。知的障害がある方は生活習慣病になりやすい。様々な問題に対してサポートしてくれる方の存在が必要。

(委 員) 3点提案したい。

1点目は、宇部市独自の女性に特化した宇部市女性健康経営認定企業や認定地域団体等を推進すること。

2点目は、骨粗しょう症。日頃から食事運動などの生活習慣に気をつけて、予防する意識付けも必要。令和7年度から、宇部市は短期集中予防サービスを取り組むとのことだが、年配女性の方に積極的に参加を促す1つの方法になるのではないかと思う。

3点目は、女性が抱える健康問題を先進技術で解決しようとするフェムテックの利活用を促進すること。

(事 務 局) 働く女性の健康経営の認定制度の話があった。社会の風潮として女性の健康・暮らしやすさに注目していくという風潮をいろんな手法で作っていくということが大事だと思う。フェムテックは昔からは考えられないような、技術のある商品がたくさん出ている。使った方の感想を聞きながら、女性が便利なものを活用できる環境の整備を検討していきたい。

## (2) 令和6年度の主な施策の進捗状況等について

(事 務 局) 【説明】

(会 長) 5番の「受ける」について、がん検診の受診率が大変低いということで、どうしたらいいかといつも悩んでいるが、昨日、県の医師会が、令和7年度事業で、各市町村から委員を出して、5月にがん検診受診率の向上を推進する委員会を立ち上げるという話を聞いた。宇部市医師会も参加し、受診率を上げたいと思っている。

(委 員) 4番の「磨く」について歯周病検診率が1.8%と横ばいで伸び悩んでいた。歯科医師会と健康増進課とで協議し、がん検診・特定健診を行う集団健診にて検診を実施することになった。試みとしては、非常に評価できるが、エリアが厚南の1箇所だけなので、これだけで評価するのではなく、どうやって次年度につなげていくかが課題であると考えている。また、小学校でのフッ化

物洗口が、飛沫によるコロナウイルス感染症予防のため中断していたが、再開された。効果について、医科学的に追っていかないといけない事案である。

(会 長) プレコンノートはどこでもらえるのか。

(事 務 局) 国立成育医療研究センターのホームページにてプレコンで検索していただければダウンロードできる。

(委 員) 女性の健康づくりを疎かににするつもりはないが、健康づくりを進める時に、健康づくり計画の全てを網羅的にやっていく中で、(女性の健康づくりに特化することでは) 成果が出にくいのでは。令和6年度も女性の健康づくりをテーマに力を入れてきた。7年度、次年度どうするか、女性の健康づくりでずっと続けられるのか、毎年テーマを変えるのか、全体の中でバランスの問題があると思う。

例えば、無料クーポンで子宮がん検診・乳がん検診の話があったが、男女両方ある肺がん検診・大腸がん検診や男性の前立腺がん検診はどうか。女性応援セミナーで不安や思いも共有できる場づくりの話があったが、おしゃべりや集まるのはどちらかというところ男性が苦手、自殺も男性が多い。女性の場を作るだけでいいのか、男性の場は考えられているか。そういうところ考えて、女性の健康づくりも進めていかないといけない。

宇部市の中で、女性の健康づくりが今1番の課題だから取り上げられた感じがなく、なぜこれをというところも説明が弱いと思う。宇部市が特に課題になるところをまずは取り上げたらいい。

私が宇部市内で講演する時は、必ず言っていることが、宇部市は地域の人との繋がりが強いと答える人が2割弱と県内で1番低いこと。今までも取り上げられていないが、悪いところから目を背けず、そこに力を入れていく方がよいのでは。

(会 長) 単年か。それとも、次年度も継続して行っていくのか。

(事 務 局) 宇部市は来年度、女性の暮らしやすさ向上に力を入れる。女性が住みたい、働きたいと思えるよう、市全体の施策として新規に取り組んでいく。女性が暮らしやすい・働きやすい・自分の持っている力を発揮しやすい社会にするためには、第一に健康でないと叶えられない。学校現場でも女子生徒に注目した教育をすると、男子生徒に対しての配慮がないとご意見をいただいたので、男性の配慮や健康づくり計画の取組も引き続きしっかりやっていく。単年で終わる予定はなく、毎年、取組の評価をしながら継続していく。

### (3) その他

(事務局)【連絡・報告】

(委員)【意見なし】